



ファームウェアバージョン:	R3.00.B019	
ハードウェアバージョン:	DXS-3400-24TC	A1
	DXS-3400-24SC	A1
発行日:	2020/4/10	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	4
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
コマンドラインインタフェースの変更点：	8
修正した問題点：	9
既知の問題：	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R3.00.B019	2020/4/10	DXS-3400-24TC	A1
		DXS-3400-24SC	A1

注意：

- R3.00.xx から R2.00.xx のファームウェアヘダウングレードを行った場合、設定が引き継がれません。
- Bootloader が 1.00.008 以上の製品をお使いの場合、R2.32 以下のバージョンのファームウェアへはダウングレードできません。お使いのファームウェアバージョン、Bootloader バージョンは、「show version」コマンドでご確認ください。

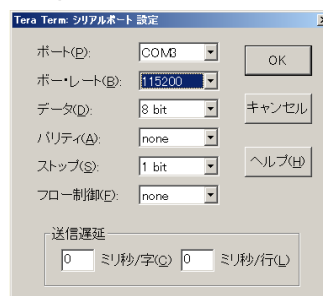
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)使用する、もしくは Web GUI から行うことができます。

CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート (コンソールポート) と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キー 1 回を押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
enable	特権レベルに移行します。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE-URL flash: PATH-FILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
Show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

(1) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

Switch>**enable**

Switch#**copy tftp: //10.90.90.100/DXS-3400-R3.00.B019.had flash: DXS-3400-R3.00.B019.had**

Address of remote host [10.90.90.100]?

Source filename [DXS-3400-R3.00.B019.had]?

Destination filename [DXS-3400-R3.00.B019.had]?

Accessing tftp://10.90.90.100/DXS-3400-R3.00.B019.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 12916100 bytes.

Please wait, programming flash..... Done.

(2) ブートイメージを指定します。

Switch#

Switch#**configure terminal**

Switch(config)#**boot image DXS-3400-R3.00.B019.had**

Switch(config)#**exit**

Switch#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/**DXS-3400-R3.00.B019.had**

Boot config: /c:/config.cfg

(3) スイッチを再起動します。

Switch#**reboot**

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) **y**

Please wait, the switch is rebooting...

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(4) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch>**show version**

System MAC Address: xx- xx - xx - xx - xx - xx

Unit ID	Module Name	Versions
1	DGS-3400-24SC	H/W:A1 Bootloader:1.00.006 Runtime: 3.00.B019

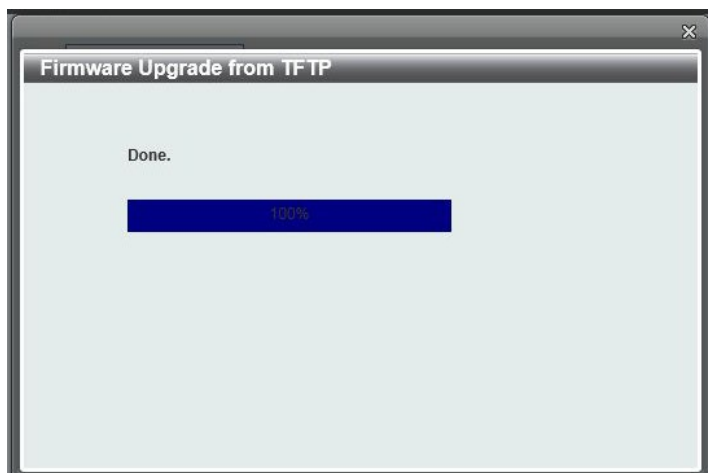
Switch>

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。
「User Name」(管理者のユーザ名)と「Password」(パスワード)は、初期状態では登録されていません。「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Upgrade」ボタンをクリックします。

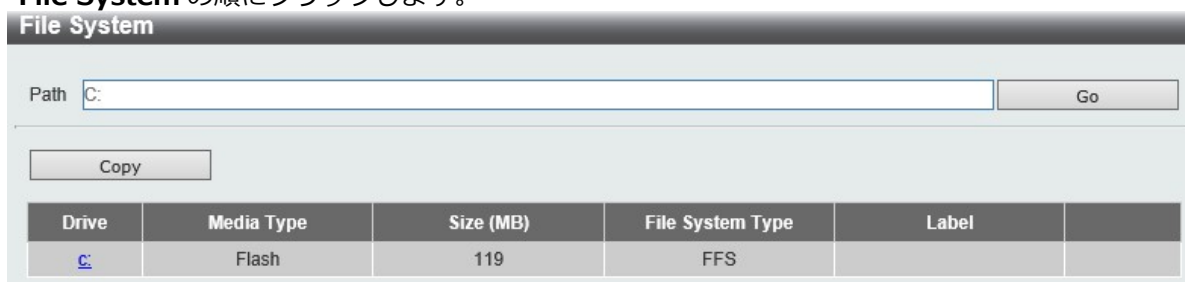
- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source File : TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例: c:/DXS-3400-R3.00.B019.had)

- ステータス画面が表示されます。「Done.」（完了）ステータスを確認後、本画面を閉じます。

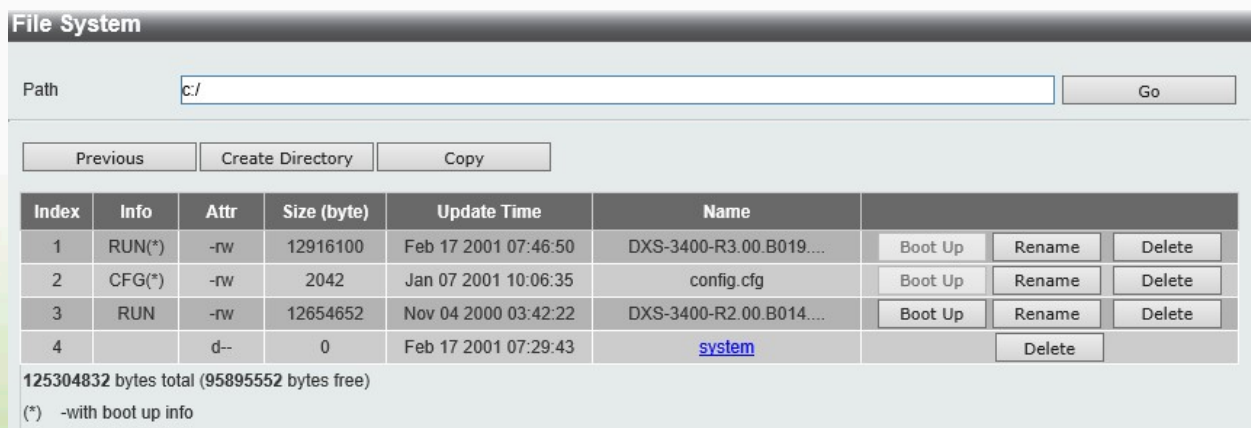


注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- 次のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Management > File System** の順にクリックします。



- Drive 欄の [C:](#) をクリックします。
- 該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

10. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。
11. スイッチのリブートを行います。リブートを行うには、**Tools > Reboot System** をクリックします。
12. 「Reboot」 ボタンをクリック後、「Are you want to reboot?」と表示されるので「OK」 ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

13. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R3.00.B019	<ol style="list-style-type: none"> SSH で diffie-hellman-group-exchange-sha256 をサポートし、OpenSSH 7.2 との互換性をサポート致しました。 System Information Settings 画面の「System Name」及び snmp name コマンドにおいて、SNMP システム名の先頭に数字を設定できるように致しました。 コンフィグレーションファイルのフォーマットを変更致しました。 複数スイッチをまたいだリンクアグリゲーション（M-LAG：Multi-Chassis Link-Aggregation）に対応致しました。 SIM のトポロジ画面で Java Applet の使用を停止し、Java スクリプトを使用するように更新致しました。 Radius キー長の上限を 254 文字に拡張致しました。 AAA 認証において、以下の項目を設定可能に致しました。 AAA Authentication Attempts Login AAA Authentication Response Timeout AAA Authentication Attempts Max Fail AAA Local Authentication Lockout PIM control packet の宛先 IP アドレスについて、マルチキャスト IP アドレスに対応致しました。 debug show tech-support で、スタックユニットのスレーブの情報表示をサポート致しました。 1 つのコマンドでスタックユニットのブートイメージを設定可能と致しました。 Web GUI の VLAN インタフェース設定画面を改善致しました。 Web GUI に VLAN Configuration Wizard 画面を追加致しました。 SSH クライアントをサポート致しました。 各 DHCP IP プールのソースサブネット数を 32 に拡張致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R3.00.B019	<ol style="list-style-type: none"> 以下の MIB ファイルを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> DLINKSW-SSH-CLIENT-MIB DLINKSW-FLEXLINKS-MIB DLINKSW-MLAG-MIB 以下の MIB ファイルをアップデート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> DLINKSW-AAA-SERVER-MIB

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R3.00.B019	<ol style="list-style-type: none"> MLAG (Multi-Chassis Link Aggregation)コマンドを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> show mlag show mlag-group <1-32> mlag mlag device-id <1-2> mlag domain <1-255> mlag hello-interval <1-10> mlag peer-link AAA (Authentication, Authorization and Accounting)について以下のコマンドを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> aaa authentication attempts login MAX-ATTEMPTS no aaa authentication attempts login aaa authentication response-timeout SECONDS no aaa authentication response-timeout aaa local authentication attempts max-fail MAX-attempts no aaa local authentication attempts max-fail aaa local authentication lockout LOCKOUT-TIME no aaa local authentication lockout radius-server host {IP-ADDRESS IPV6-ADDRESS } [auth-port port] [acct-port port] [timeout SECONDS] [retransmit COUNT] key [0 7] KEY-STRING debug show tech-support コマンドで unit UNIT-ID オプションに対応致しました。 <ul style="list-style-type: none"> debug show tech-support unit <1-4> boot image コマンドで all オプションに対応致しました。 <ul style="list-style-type: none"> boot image all URL boot image check all URL Flexlink について以下のコマンドを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> flex-link backup interface INTERFACE-ID no flex-link show flex-link SSH クライアントについて以下のコマンドを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ip ssh client authmethod {password publickey} no ip ssh client authmethod ip ssh client keypath {publickey STRING privatekey STRING} no ip ssh client keypath {publickey privatekey} show ip ssh client ssh{IP-ADDRESS IPV6-ADDRESS}

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B019	<ol style="list-style-type: none"> 1. IGMP Snooping を使用している際に、対象 VLAN の IGMP Snooping が有効だと PIM Hello のパケットがフィルタされる問題を修正致しました。 2. MLD Snooping を使用している際に、Forward Unregister, Forward All の条件において、PIMv6 Hello のパケットが フィルタされる問題を修正致しました。 3. SNMP カウンタが遅延する問題を修正致しました。 4. Mgmt0 に IP Address が割り当てられていない状態において、telnet クライアントが動作しない問題を修正致しました。 5. MAC 認証機能において、認証情報に関する SNMP Trap の OID の一部が誤っていた問題を修正致しました。 6. DoS Attack Prevention 機能において、Blat Attack を DoS 攻撃防止タイプに指定した場合、UDP が対象になっていなかった問題を修正致しました。 7. copy log rftp:コマンドおよび copy log rcp:コマンドにより転送される log 情報について、不適切な文字コードが含まれていた問題を修正致しました。 8. スタックした DXS-3400 で、大量のスタックメッセージまたは CPU へのトラフィックにより、TACACS+サーバでの認証が行われなくなる問題を修正致しました。 9. スイッチが DHCP Ack パケットをドロップし、更新パケットの DHCP 要求においてリレーエージェントが giaddr を追加しない問題を修正しました。 10. iSCSI イニシエータによるファイル転送時にスイッチが再起動する問題を修正しました。 11. LAC グループを削除後に、トラフィックセグメンテーションフォワーディングテーブルが正しく表示されない問題を修正致しました。 12. "no interface vlan 1" コマンド実行後にスイッチを再起動すると、コマンドが適用されていない問題を修正致しました。 13. "authentication compauth mode mac-wac" が正しく動作しない問題を修正致しました。 14. スイッチにログインしていたブラウザを閉じ、NMS ポーリング (http リクエストのポーリング) を開始すると、Web セッションがタイムアウトにならない問題を修正致しました。 15. 複数の "show running-config" を適用した場合、"Spanning Tree port role change" および "New Root bridge selected" ログが表示される問題を修正しました。 16. コンソールで "show running-config all" を適用すると、"MSTP_Rx_Syn_pkt --- > Queue is Full!" と約 10 分間表示される問題を修正致しました。 17. "show running-config" コマンドを適用すると、約 60 秒間スイッチの CPU の負荷が 100% になる問題を修正致しました。 18. Web GUI で DNS ホスト設定を追加した場合、CLI では追加した DNS ホスト設定が表示されても Web GUI には表示されない問題を修正致しました。 19. 再起動後に、"no interface vlan 1" コマンドをスイッチが適用しない問題を修正致しました。 20. MAC アドレスのフォーマットが CLI と Web GUI で同期しない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.B019	1. 802.1Qau Congestion Notification（輻輳通知）が、物理スタック構成のスレーブスイッチにおいて動作しない問題。

Copyright 2006-2020 D-Link Japan K.K.